

プログラム



【第1会場 ホールAB】

開会挨拶

8:55 ~

シンポジウム1 ワークステーションの最前線

9:00 ~ 10:30

座長：横堀 将司 (日本医科大学付属病院 救命救急科)

梅鉢 梨真子 (小田原市立病院 救急科)

- SY1-1 消防主体のワークステーション方式ドクターカーをどのように活用するか
小橋 大輔 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)
- SY1-2 当院のワークステーション方式ドクターカー運行の変遷と今後の課題
宮崎 敬太 (奈良県立医科大学付属病院 高度救命救急センター)
- SY1-3 秦野市救急ワークステーションの運用とその現状について
上畠 篤 (秦野赤十字病院 救急科/東海大学医学部 総合診療学系救命救急医学)
- SY1-4 院内救命士を活用したワークステーションにおける救急隊員の指導・教育
三浦 仁司 (平塚市民病院・平塚市消防本部)
- SY1-5 派遣型救急ワークステーションの取組とその効果について
鳥山 知靖 (伊勢原市消防本部)
- SY1-6 小児救命救急センターでの救急ワークステーションの有用性について
深谷 祐樹 (大府市消防本部)

パネルディスカッション 病院救命士の活動

10:30 ~ 11:50

座長：今井 寛 (桑名市総合医療センター)

辻 友篤 (東海大学医学部総合診療学系救命救急医学)

- PD-1 病院救命士の活躍のために～標準化された質の担保に向けた課題～
米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)
- PD-2 当院における病院所属救急救命士の処置拡大について
若井 慎二郎 (海老名総合病院 救急科)
- PD-3 高度な病院前医療を支える病院救急救命士の活用ノウハウ
佐々木 俊一 (済生会宇都宮病院 看護部)
- PD-4 救急調整室のロジスティックス革新：湘南鎌倉総合病院の事例
作田 翔平 (医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 救急調整室)
- PD-5 都心型ドクターカーにおける救命士の活用について
北原 嶺 (東京医科歯科大学病院 救命救急センター)
- PD-6 病院救急救命士の活動
猪鼻 寿樹 (八戸市立市民病院 救命救急センター)

ランチョンセミナー1 IT駆使のデータ連携 ～プレホスピタルからインホスピタルまで～ 12:00～12:50
座長：西山 慶（新潟大学大学院医歯学総合研究科 器官制御医学講座 救命救急医学分野）

LS1-1 全国ドクターカーレジストリの概要と今後のビジョン
土谷 飛鳥（東海大学医学部医学科総合診療学系救命救急医学）

LS1-2 ドクターカー・ヘリのDX推進とレジストリ構築支援
園生 智弘（TXP Medical 株式会社 代表取締役、医師）

共催：日本光電工業株式会社／TXP Medical 株式会社

総会

13:00～13:15

特別企画 鉄道と救急医療

13:20～14:50

座長：大友 康裕（国立病院機構災害医療センター 病院長）

守田 誠司（東海大学医学部総合診療学系救命救急医学）

SE-1 横浜で取り組む多数傷病者案件の現場医療統括～京浜急行脱線・炎上事故の実例から考える～
大井 康史（横浜市立大学附属病院）

SE-2 事故・災害発生時の基本的な対応 ～医療従事者をお願いしたいこと～
島村 昭一（京急電鉄 鉄道本部 安全推進部）

SE-3 小田原市消防本部の鉄道事故に対する取り組みについて
佐宗 昇（小田原市消防本部）

SE-4 JR東海道新幹線車両内で発生した特異災害2症例
府川 誠一（小田原市消防本部）

SE-5 新幹線車内で多数傷病者事故が発生した際の医療機関における対応
飯塚 進一（小田原市立病院 救急科）

SE-6 鉄道会社と医療関係者との連携に向けて
吉倉 進介（東海旅客鉄道株式会社 新幹線鉄道事業部 管理部 総務課）

一般口演1 パネルディスカッション関連セッション（病院救命士） 15:00～15:48
座長：岩瀬 史明（山梨県立中央病院 高度救命救急センター）

O1-1 病院救急車の活用と病院救急救命士の教育と今後の活躍
長橋 和希（東京曳舟病院 救急救命士課）

O1-2 病院救命士と病院前救急診療のこれから～タスクシフトがつくる“新しい潮流”～
中村 賢人（関西メディカル病院 ERセンター／関西メディカル病院 EMT科）

O1-3 ～ドクターカー活動における当院病院救急救命士の役割と今後の展望～
守田 崇俊（八戸市立市民病院 救命救急センター）

O1-4 ドクターカー救急救命士の現状と課題
岸田 全人（埼玉医科大学国際医療センター）

O1-5 デブリーフィングシートからわかったこと
光銭 大裕（東京都立多摩総合医療センター）

O1-6 救急車より先着し対応したドクターカー出場症例
齋藤 笑里（埼玉医科大学国際医療センター）



委員会報告 全国ドクターカー協議会からの報告

16:00 ~ 17:00

座長：今 明秀（八戸市立市民病院 救急科）

猪口 貞樹（東海大学医学部客員教授／海老名総合病院 救急科）

CR-1 ドクターカーレジストリの概要について

横堀 将司（日本医科大学付属病院 救命救急科）

CR-2 レジストリ作成委員会より

土谷 飛鳥（東海大学医学部総合診療学系救命救急医学）

CR-3 レジストリ評価委員会より

田上 隆（日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科）

CR-4 活動基準作成委員会より

小倉 崇以（済生会宇都宮病院 救急・集中治療科）

CR-5 広報委員会より

本村 友一（日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター）

閉会挨拶

17:00 ~

【第2会場 ホールC】

一般口演2 心肺停止・指示要請

9:00 ~ 9:56

座長：北村 伸哉（国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター）

- O2-1 COVID-19 感染拡大は、救急隊の業務効率と院外心肺停止患者の予後に影響をおよぼすか？
井上 茂亮（神戸大学医学部医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野／和歌山県立医科大学医学部 救急集中治療医学講座）
- O2-2 COVID-19 感染拡大期における搬送先での医療廃棄物処理システムが救急隊業務効率と院外心肺停止患者予後へ与える影響
杉山 隼（神戸大学医学部医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野／神戸市消防局）
- O2-3 遠方発症難治性 VF/VT へのドクターカー V 3 での病院前 E-CPR(V3・E-CPR) は有効か？
近藤 英史（八戸市立市民病院救命救急センター）
- O2-4 当地域における prehospital ECPR、11 例の報告
木村 拓哉（済生会宇都宮病院 救急・集中治療科）
- O2-5 ドクターカーによる病院前診療は院外心肺停止患者の生命予後を改善させる ～単施設後ろ向き検討～
清水 翔平（地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立多摩総合医療センター）
- O2-6 GoPro[®] を使用した当院のドクターカーにおける心肺停止患者への胸骨圧迫比率の検討
菊地 駿（フィルタス株式会社）
- O2-7 ドクターカー症例での救急救命士特定行為の指示要請に関して
山田 哲久（飯塚病院 救急科）

一般口演3 ドクターヘリ

10:00 ~ 10:48

座長：小林 誠人（鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター）

- O3-1 ドクターヘリが出動し現場処置後に搬送し胸郭固定術を実施した胸部外傷患者 3 例
玉造 吉樹（水戸済生会総合病院救命救急センター）
- O3-2 脳卒中疑いの患者を病院前診療で大動脈解離と診断できた一例
松村 晃希（熊本赤十字病院）
- O3-3 新潟県村上市山北地区での多数傷病者事例と患者搬送におけるドクターヘリの重要性
堀田 和子（湘南鎌倉総合病院 脳神経外科）
- O3-4 救命できなかった耕運機による下腿切断の 1 例
小守林 靖一（岩手医科大学岩手県高度救命救急センター／岩手医科大学医学部脳神経外科学講座）
- O3-5 ドクターヘリおよび消防との位置情報共有システムの構築
小守林 靖一（岩手医科大学岩手県高度救命救急センター／岩手医科大学医学部脳神経外科学講座）
- O3-6 ドクターヘリによる病院前輸血療法の現状と有効性の検討
三浦 直也（東海大学医学部総合診療学系救命救急医学）

一般口演4 実績・連携活動・課題

10:50 ~ 11:54

座長：中村 光伸（前橋赤十字病院 集中治療科・救急科）

- O4-1 - 救急ワークステーションでの搬送実績とキーワードの捉え方の変化について -
長澤 洋朗（秦野市消防本部）

- O4-2** 派遣型救急ワークステーションが病院に与える効果
清水 美砂子 (埼玉医科大学病院 救急科)
- O4-3** トンネル内交通救助出動でドクターカー要請した 多数傷病者事案
小室 健司 (秦野市消防本部)
- O4-4** 局地災害においてドクターカー・ドクターヘリは医療チームの先遣隊として重要である
八坂 剛一 (さいたま赤十字病院 高度救命救急センター)
- O4-5** 後発のドクターカーが基地病院の異なるドクターヘリと共存するための取り組み
町田 浩志 (国立病院機構高崎総合医療センター)
- O4-6** 山間部にドクターカー出動し救急隊との連携に困難を極めた症例についての検討と今後の課題
飯島 甫 (埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科)
- O4-7** 当院における小児ドクターカーと成人ドクターカーの独立運用の課題 ～小児ドクターカー側の視点から～
山上 雄司 (兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科)
- O4-8** 出動件数 3000 件を迎えた都心型ドクターカーの現状と今後の課題
服部 恭平 (東京医科歯科大学 救命救急センター)

ランチョンセミナー2 Let's power on ～患者搬送における新しい潮流～ 12:00 ～ 12:50
座長：横堀 将司 (日本医科大学付属病院 救命救急科)

- LS2-1** 電動ストレッチャーの導入は病院前救急診療に何をもたらすか？
中澤 真弓 (日本体育大学保健医療学部救急医療学科)
- LS2-2** 病院救急救命士による病院間搬送の新たな潮流
沼田 浩人 (日本医科大学多摩永山病院 救命救急科)

共催：日本ストライカー株式会社

一般口演5 調査・研究・役割 13:20 ～ 14:24
座長：山口 均 (一宮市立市民病院 救急科)

- O5-1** いばらき診療所の在宅患者における救急搬送時の疾患別分類
照沼 秀也 (医療法人社団いばらき会 いばらき診療所ひたち)
- O5-2** イギリスとドイツにおける病院前救急診療の現状と日本への応用可能性
大森 一彦 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科 / Queen Mary University of London, Centre for Trauma Sciences)
- O5-3** ドクターカーの病院前活動における画像伝送の試み
三戸 正人 (ハートライフ病院 救急総合診療部)
- O5-4** Capillary refilling time(CRT) 測定装置の開発
齋藤 大輝 (千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学)
- O5-5** ドクターカーのサイレンの YELP 音社会実装までの道のり
浅川 拓克 (八戸工業大学 工学部)
- O5-6** 他のサイレン音と YELP 音のラウドネス解析及び主観的な評価とユニバーサルデザインにおけるサイレン音の検討
安部 信行 (八戸工業大学 感性デザイン学部)
- O5-7** ドクターカーのサイレン音変更に伴う市民周知ポスターのデザイン制作
深川 飛翔 (八戸工業大学 感性デザイン学部)
- O5-8** 救命救急センターにおける脳神経外科医の役割
奈良岡 征都 (弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

一般口演6 さまざまな形態で活動するグラウンドナースの実践

14:25 ~ 15:21

座長：坂田 久美子 (愛知医科大学 看護学部)

- O6-1 **グラウンドナース教育支援内容の修正後再評価と今後の課題について**
岩井 美由希 (地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院)
- O6-2 **A 病院におけるグラウンドナースの教育体制の構築と課題**
久保 康隆 (東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター)
- O6-3 **当センターにおける小児専門搬送の現状とグラウンドナースの役割**
杉本 尚味 (あいち小児保健医療総合センター)
- O6-4 **「ドクターカーに看護師が搭乗する必要性～”手と目で見て護る”を実感したこと～」**
伊東 久美子 (徳島赤十字病院 救急外来)
- O6-5 **小児・周産期領域におけるドクターヘリ搬送の現状**
渡邊 直貴 (東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター)
- O6-6 **洋上救急における看護師の役割 ～外国籍患者の洋上救急活動の経験から～**
国本 雅巳 (東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター)
- O6-7 **ドクターカーで研修する救命士の院外心肺停止症例に対する静脈路確保研修の調査**
井上 智文 (奈良県立医科大学附属病院 看護部)

シンポジウム2 グラウンドナースの役割

15:25 ~ 16:45

座長：木澤 晃代 (公益社団法人 日本看護協会)

大山 太 (東海大学医学部看護学科)

- SY2-1 **当院のドクターカー活動とグラウンドナースの役割と教育について**
中村 紀夫 (済生会滋賀病院 看護部 ICU)
- SY2-2 **ワークステーション型ドクターカーにおけるグラウンドナースの役割
～運用開始から2年間の現状と課題～**
藤井 香織 (SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 救命救急センター)
- SY2-3 **平時のグラウンドナースとしての活動が災害時でも有効ではないか**
南田 哲平 (奈良県立医科大学附属病院 看護部 高度救命救急センター)
- SY2-4 **ECMO Car で活動するグラウンドナースの実践**
城田 智之 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター)
- SY2-5 **民間救急看護師の現状報告と今後の課題**
周東 久美子 (民間救急サービス Right)